

かけはし

かけはしになれる議会、親しまれる議会を目指して。

第57号

6月

定例会 2018

2018.7.20発行

西予市議会だより 第57号 <http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai/> E-mail gikaijimu@city.seiyo.ehime.jp



四国西予ジオパーク
SHIKOKU SEIYO GEOPARK

特集

議員定数等に関する特別委員会設置
新部長に聞く
市民との意見交換会実施(田之筋・田之浜・遊子川)

写真:「静かな流れ」(野村町桂川溪谷)
酒井 真司(明浜町)



岩口公一さんご夫妻と粟の種播き



宮中新嘗祭献穀粟播種祭 御田植祭り 米

新嘗祭とは、毎年11月23日に天皇が収穫した穀物を神に供える宮中行事

野村町では昭和57年
以来36年ぶりに、宮中
行事である新嘗祭に
粟・精米を献上するこ
とになりました。



早乙女による稲の手植え



橋本 勝さんご夫妻と早乙女

6月3日(日)同地区の烏
祇神社で、県関係や地元関
係者で神事を行いました。
その後、地元の小中高生
6名が早乙女姿で、粟の播
種の儀(種まき)を行い、引
き続き御田植の儀では、稲
の手植えを行いました。
9月中旬に収穫し天日乾
燥した後10月下旬に皇居へ
持参する予定です。
お二人とも、これまで培
った農への心と技を生かし、
無事に実りの秋を迎え、皇
居での献納式において献穀
していただく事をお祈りい
たします。

◎編集委員
編集委員長 山本 英明
副委員長 源 正樹
委員 宇都宮久見子
竹崎 幸仁
二宮 一朗
兵頭 学
宇都宮明宏



ロシアでは、4年に一度の
世界スポーツの祭典、サッ
カーワールドカップ大会が開
催され、日本がアジア勢で初
めて南米勢のコロンビアに勝
ち予選リーグを突破、もう少
しでベスト8という素晴らしい
快挙を成し遂げました。
我々、編集委員会も新メン
バーになり、この日本チーム
の勢いにあやかり、初心を忘
れず、今後とも、市民の皆様
に有意義で、幅広く、正確な
情報の発信を心がけていきま
す。全員が一致協力して、真
摯に任務遂行に励みますので
今後ともよろしくお願いいた
します。

編集後記



竹崎幸仁副議長（左）酒井宇之吉議長（右）

議長就任あいさつ

西予市発足から15年目を迎えました。当市でも人口減少、高齢化を起因とするいろいろな諸問題を抱えています。行政・議会も情報化社会への対応、AIの実用化など最先端の技術を学ばなくてはならなくなっています。

四国西予ジオパークに象徴される自然の中で育まれた人間性の豊かさ、良さを根元として生きる喜びを感じればと思います。

西予市議会では、統廃合の進む小学校区で市民との意見交換会を実施しています。議会の重要機能である市民代表・行政監視・政策立案を通して、市民との意思疎通に努め、どのような行政監視が良いのか、求められる政策はどのようなものか、模索して具現化していかなければならないと考えています。

市民の目線が、今以上議会に向くように議員が一丸となつて全力で頑張ろうと考えております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

西予市議会議長
酒井 宇之吉

こんなことを審査し、決めました
6月定例会

国民健康保険税 条例改正

平成30年第2回定例会が、6月1日から21日まで会期21日間で開催され、条例制定・改正や補正予算などについて、慎重かつ活発な審査の上、全て議決されました。

条例制定	条例改正	補正予算	陳情	契約	を含む 計32議案
1件	4件	9件	1件	5件	



市のお金がどのように使われるのか、
「くらしの目線」でチェック!

市のお金ってどんなことに使われるの?



Check

西予市国民健康保険税条例 の一部を改正する条例制定

医療費の増加や国保税収の減少等による国保財政の厳しい状況をふまえ、平成25年度以来、5年ぶりの国保税率の改定を行う。

被保険者1人当たり年額平均で7700円引上げ、改定率では10.7%となる。



Check

担い手育成支援事業



2026万円

認定農業者が農業用機械等を購入するにあたり、県が支援するための補助金と、国庫補助の要件に当てはまらない機械・施設等を導入するにあたり、費用の一部を市が助成するための補助金。



Check

都市計画策定 管理事業



200万円

フットパスによるまちづくりを行うため、モデル地区を選定し、コースの整備やマニュアル策定の委託料。



Check

市有財産維持管理 事業



1億1360万円

野村支所庁舎建設にともなう土地購入費および宇和文化会館裏駐車場の土地購入費。



Check

三瓶文化会館 管理運営事業



6199万円

外壁の崩落が発生したため、それを防止するための外壁改修に係る工事請負費。



Check

畜産公共事業 運営促進事業



721万円

指定管理施設(大野ヶ原育成牧場)内の配管・ポンプ施設の修繕と設備等の更新に係る負担金。



※予算額は、万円未満を四捨五入した数字です。

議案の審議結果



陳情

西予市内建築業者の育成に関する要望書

人口減少および少子高齢化が早く進み、住宅着工戸数の減少にみられるように市内の建築産業における仕事の減少に危機感を感じている。

業務量の確保が最大の課題であり、地元企業優先の発注をお願いするとともに、工事単価の適正対応や工事量の確保について要望する。

全会一致で採択

住宅宿泊事業法の条例化に当たっての陳情書

継続審査

条例制定

西予市中小企業・小規模企業振興条例制定

中小企業法の改正・小規模企業振興基本条例などにに基づき、市および関係機関の役割を明らかにするとともに、振興施策を総合かつ計画的に推進し、地域経済の活性化と市民生活の向上に寄与することを目的としている。



地元企業の振興を

全会一致で可決

6月定例会 主な議案の審議結果一覧

件名	議決結果
西予市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
西予市保育所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更について	原案可決
平成30年度西予市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
明浜支所庁舎新築工事(建築工事)請負契約について	原案可決
西予市消防署野村支署救助工作車Ⅰ型の取得について	原案可決

全議案の審議結果は、西予市議会ホームページに掲載しております。

議案に対する質疑がありました

本会議での質疑の一部を報告いたします

補正予算

問

フットパスについて、具体的にどの地域を整備していくのか。

建設部長

卯之町の重伝建区域、また法華津峠の自然歩道をモデル地区としてコースづくりを行いたいと考えている。

条例の一部改正

問

西予市国民健康保険税率が改定されるが、その根拠は。

生活福祉部長

これまでの実績と将来的な保険給付費の見込みを推計し、健全な運営できるよう平成30年度の課税データから試算をし、税率の改定を行っている。

議長	委員	副委員長	委員	委員	議会運営委員会
オザバー	兵頭	小玉	信宮	河野	佐藤
竹崎	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
酒井	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
藤井	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重

議長	委員	副委員長	委員	委員	西予市地域防災体制特別委員会
佐藤	恒夫	一雅	徹也	信宮	河野
兵頭	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
竹崎	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
酒井	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重

議長	委員	副委員長	委員	委員	西予市議会議員定数及び報酬等検討特別委員会
佐藤	恒夫	一雅	徹也	信宮	河野
兵頭	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
竹崎	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
酒井	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重

議長	委員	副委員長	委員	委員	総務常任委員会
信宮	徹也	一雅	久見子	宇都宮	森川
兵頭	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
竹崎	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
酒井	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重

議長	委員	副委員長	委員	委員	厚生常任委員会
山本	英明	一雅	陽一	井関	中村
兵頭	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
竹崎	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
酒井	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重

議長	委員	副委員長	委員	委員	産業建設常任委員会
河野	清一	正昭	俊文	佐藤	加藤
兵頭	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
竹崎	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重
酒井	幸仁	宇吉	朝廣	正昭	一重

西予市議会委員会構成
平成30年第1回臨時会及び第2回定例会にて、新たな委員会構成が決定しました。

総務 常任委員会でのQ&A

Q 辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更
総合整備計画未策定の地域があるが、その理由は

A 政策推進課
ハード事業等の整備に基づいて計画を策定しているが、現在のところ公共的施設整備、辺地事業を活用した事業等の計画が無い地域が未策定地域になる。

Q 都市計画マスタープラン
フットパスによるまちづくりとは

A まちづくり推進課
フットパスというのは「小道を巡る」という意味で、小道を散策し、昔の歴史等を学びながら歩いていくことである。建設課が担当課であるが、卯之町の町並みと法華津峠あたりのコースを、今後モデル的に作っていく予定である。

Q 派遣職員管理事業
派遣職員の業務内容は

A 総務課
内閣府の番号制度推進室は、国が進めているマイナンバー制度の普及啓発等を業務としており、派遣をしている職員については、主に広報活動等に従事をしている。

Q 野村公民館改修工事
工事請負費の内容は

A 生涯学習課
公民館1階の一部を西予市商工会へ、支所事務所として貸し付けるための改修工事費で、仕切りパーティションの設置や空調・電気設備工事である。

Q 消防施設費
歳出補正の増額は

A 消防総務課
耐震性貯水槽新設工事であり、当初2基分を計上していたが、3基分の国庫補助が確定したために新たに野村町白髭に1基整備することになった。

視察 所管事務調査 庁舎内所管課訪問

職員と議員の交流をさらに深めるため、委員会所管の課を訪問しました。当委員会は、税務、財政、財産管理、教育、消防など多岐にわたっています。それぞれの課で、自己紹介と担当業務の説明がありました。顔見知りの方もいれば、初めて顔を見る方も多く、所管の広さを改めて感じました。今後も、調査を重ね、より良い西予市の未来を議論してまいります。



オフィス改革された市役所 4 階

厚生 常任委員会でのQ&A

Q 西予市国民健康保険税条例の二部を改正する条例制定
厳しい財政運営だと聞いているが、どのくらいの値上げを予定しているのか

A 市民課
国民健康保険税額を一人当たりの平均で7700円引き上げ、約79400円に改定し、国民健康保険の健全な運営を図りたい。

Q 西予市保育所条例の一部を改正する条例制定
高山保育所の移転先は

A 子育て支援課
旧高山小学校跡地で、移管先である社会福祉法人が建設し、供用開始は平成32年4月を予定している。

Q 西予市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定
改定の主な内容とは

A 子育て支援課
放課後児童支援員の資格要件を明確にするため、教育職員免許法上の免許状を有する者を対象とするほか、新たに、5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者で、市長が適当と認めた者を対象とするよう追加した。

Q 平成30年度西予市一般会計補正予算(第1号)
厚生常任委員会所管分の内容は

A 市民課他
平成30年4月1日付の人事異動に伴う人事給与費の補正及び産前産後休暇・育児休暇取得職員の代替えによる臨時職員任用の費用に関する補正である。

視察 所管事務調査 しろかわ保育所

平成30年4月から認定こども園としてスタートした、しろかわ保育所を視察しました。

新緑に包まれた園内はこども達の笑顔と元気な明るい声であふれ、訪問者の心までがさわやかになりました。

特に、園庭の木育遊具には目を奪われ、木の温もりと手さわりのよさ、その重厚感に圧倒されたものでした。ここで育つこども達の幸せを願いたくなる素晴らしい施設でした。

そのほかには、つくし苑の増床部分の確認と、帰楽苑の現状についての調査を行いました。



しろかわ保育所の木育遊具

産業建設常任委員会でのQ&A

認定農業者支援事業補助金

旧町での件数と今後の見通しは

市単独事業で平成25年度から2期6年間実施してきた事業である。
本年度は60件で、明浜1件・宇和15件・野村24件・城川11件・三瓶9件であり継続の希望も多いため、新たな支援策を検討する。

A
農業水産課

旧町地区187号線ほか5路線の改良

事業の概要は

今年度、改良延長は110m、道路幅員は9m、そのうち歩道部分は2mになる。
旧宇和病院跡地は地域密着型特別養護老人ホーム開明の杜と認定こども園つわまち未来こども園の整備により車輛の通行量が増加している。
社会教育複合施設も建設されるため、商店街の道路との交差点部分は、安全を確保するための歩道整備等を行う。

A
建設課

林道開設・舗装事業

減額の内容は

13路線に対して国からの内示に伴い10路線が減額、3路線が増額変更となる。
減額のうち、2事業は国での審査の結果、補助要件を満たしていないことから、本年度は事業実施に至らなかった。

A
林業課



旧宇和病院跡地周辺道路

視察 所管事務調査

西予市野村町 エコセンター

J A東宇和が運営するエコセンターの視察を行いました。
本施設は、畜産農家における畜糞処理問題を解決するだけでなく、センター内における二次公害の防止・環境問題の解消などが行えるつくりとなっており、良質な堆肥が製造されています。
現在、公共施設などから排出されるごみ処理費の削減が求められており、委員会としても、今後生ごみ堆肥化施設における環境対策などについて調査・研究を続けていきます。



埋肥化の説明を聞く(野村町エコセンター)

適正な議員定数は

西予市議会議員定数及び報酬等検討特別委員会

6月定例会において、「西予市議会議員定数及び報酬等検討特別委員会」を設置しました。

設置目的

西予市議会における、適正な議員定数、議員報酬及び手当等について調査研究するため、特別委員会を設置するものです。

これまで

改選前、議会運営委員会で議員定数について調査研究し、市民の皆さんからのアンケート結果と市民との意見交換会でのご意見を参考に、「1名削減の20名」の結論でしたが、本会議の採択で21名となりました。

少子高齢化、人口減少で、地方創生を推進するなか、議会の役割と責任は大きくなっています。前回のアンケートでは、「定数を減らすべき」「報酬が高すぎる」と



本会議(平成29年6月定例会)

設置目的

南海トラフ地震やゲリラ豪雨等、激甚化する自然災害から市民の生命・財産を守るため、消防体制のあり方について調査研究するものです。

これから

昨年度は、消防広域化の先進地と総務省消防庁で視察研修を行いました。

現在、2つの大きな問題があります。1つは消防組織体制と指揮命令系統の矛盾です。

三瓶町は、現在八幡浜地区事務組合の管轄です。国は、消防本部広域化を推進しています。広域化の推進、もしくは三瓶町を西予市消防本部の管轄にするなど、地域の実情に応じた消防体制を整備し、



共同運用されている消防指令センター(栃木県大田原市)

市民の安全安心を守るために

西予市地域防災体制特別委員会

昨年6月定例会において、委員会を設置し活動してきました。

設置目的

南海トラフ地震やゲリラ豪雨等、激甚化する自然災害から市民の生命・財産を守るため、消防体制のあり方について調査研究するものです。

防災力を向上させることが急務です。
もう1つは、耐震基準に満たない老朽化した本部庁舎です。消防本部の組織体制の検討と並行して、災害時の防災拠点となる消防本部庁舎の建設を進めて行く必要があります。
今後、地域に応じた消防体制を確立し、市民の皆さまの安全・安全を守るよう、行政に提案してまいります。



宇都宮 俊文

環境と経済の循環型社会実現を

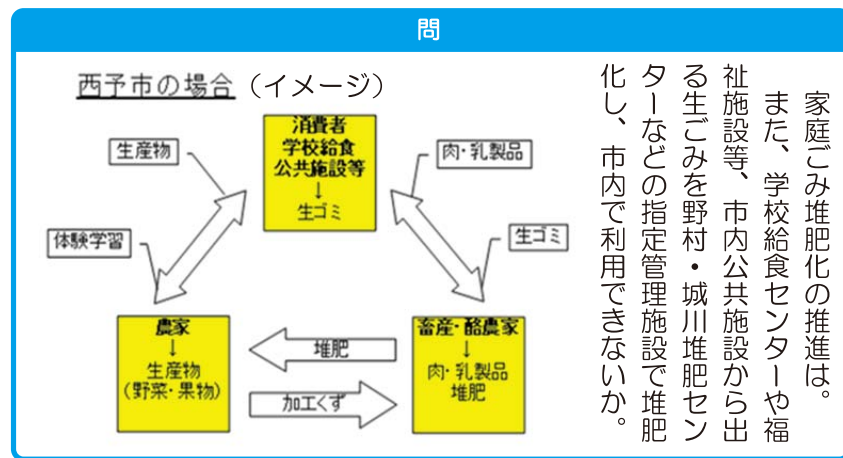
生活福祉部長

資源の循環にあわせ、地域内で経済循環につながるよう、調査研究する

生活福祉部長 各家庭の生ごみの堆肥化については、生ごみ処理機と容器の購入補助を行っているので、利用していただきたい。

また、公共施設から出る生ごみは、畜産・酪農家との提携において、双方にメリットが出る方法を見出せば実現可能と考える。

資源の循環に合わせ、経費や副産物の有効活用が地域内で経済循環につながるよう、調査研究していく。



副市長 平成29年度の土木・建築等の公共工事総額は、約40億8000万円である。市内事業者への発注額は約31億4400万円、発注率で約77%である。

物品購入については、高額な医療機器・情報通信機器などがあり、市内事業者への発注率は約38%となっている。

経済の循環を考慮し、地域の経済・

問 公共事業・物品購入など市内事業者発注の状況と地元発注率を上げるための対応は。



野村町エコセンター堆肥乾燥設備

市 長 平成28年3月に西予市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、経済活性化と人口減少緩和に努めている。

魅力ある地域・ひと・企業づくりを行うことで若い人材の確保及び産業の活性化につなげたい。

これを達成するために、シオパーク等の魅力を活用し、農林水産業や商工業など、異業種間連携を強化し、市内産業、経済の維持発展に努めていく。

問 人口減少や高齢化社会が進む中、産業・経済の発展をどのように考えるか。

雇用を確保するためにも、競争性に配慮した上で、できる限り市内事業者に発注できるよう、受注機会の確保に努めてまいりたい。



佐藤 恒夫

消防本部庁舎建設計画は

消防長

消防庁舎改築推進委員会を設置して準備を進める



西予市消防本部庁舎(宇和町)

問 老朽化している消防本部庁舎の建設計画は。

消防長 今年4月に、市町村の消防広域化に関する基本指針が一部改正され、消防の連携・協力という新たな広域のあり方を推進する。

今後の、消防組織の変化を見極めながら、庁舎建設を検討するため、庁舎改築推進委員会を設置する。

委員構成は、市議会が推薦する方、地域住民を代表する方、西予市消防団が推薦する方など12名以内で組織する。

今年度中に、答申書を提出していただき基本構想に反映したいと考えている。

生活福祉部長 市民の皆様が、きちんと分別されることにより再生利用が図られ、処理費用の軽減に繋がっていると考えている。

プラスチックの処理については、日本容器包装リサイクル協会を介して、再資源化にも努めている。

燃やすことにより、自然環境への負荷、最終処分場のひっ迫、温暖化

問 資源ごみの分別方法のあり方について、容器プラスチックを燃やすごみとして回収できないか。

生活福祉部長 可燃ごみは、全て八幡浜市へ委託し、南環境センターで焼却している。29年度のごみ総量は7559トン、委託料は2億2534万円である。

一人当たり、1日のごみ排出量は、714gで、県内でも2番目に少ない量である。

今後も、ごみ処理委託料の削減については、分別と水切りをお願いしたい。

月々の可燃ごみ処理量をホームページに掲載して、見える化を図りごみの減量に繋げていく。

問 可燃ごみ処理の現状と削減対策は。

議員のつぶやき

ごみの分別意識ひとつで委託費削減！



八幡浜南環境センター(八幡浜市)

の観点からも、焼却するごみの量を抑制する必要があると考える。

リサイクル法の観点から、資源ごみの処理方法においては、適正で安価に処理できる方法を今後も、検討する。

その他の質問

◎エネルギーの循環について

議員のつぶやき

西予市ならなんでもできる



二宮 一郎

全国初 准救急隊員制度の運用状況は

消防長 現場到着時間短縮と救命率の向上に



城川救急出張所

問 川・明浜の救急24時間体制運用の実績は。

消防長 各出張所において消防吏員7名、准救急隊員5名の合計12名で、計画どおり常時24時間3人が常駐する体制がとれている。一般行政職の准救急隊員は、人命を扱う業務で責任と同時にやりがいもある業務だと感じている。

4・5月の出勤実績は、城川救急出張所42件、明浜救急出張所26件合計68件で、うち、37件がこれまで空白時間であった休日夜間の時間帯に出勤している。



加藤 美香

相続登記未了土地の実態は

総務企画部長 全体の16%が未了である

問 相続登記未了土地等の実態把握および対策は。

総務企画部長 平成30年1月1日現在、西予市全体の筆数37万392筆のうち、相続登記未了土地を相続人が管理している土地の筆数は5万9385筆あり、全体に占める割合は16%となっている。

相続登記を進めるための取り組みは、死亡届出後の手続きに親族の方が来庁された際、「相続登記促進のための広報用リーフレット」を窓口で配布するなどしている。

また先般開催された四国市長会において、相続登記未了による所有者不明土地の解消に向け手続きの簡素化や、不動産登記の義務化など、制度の見直しを国に要望したところである。

問 スマイル保育園の現状と課題は。

医療介護部長 事業所内保育は、0歳から2歳までの各年齢5名、合計15名の定員で、5月末現在の入所児童数は4名である。病児保育については、1日6名の定員で生後6か月から小学校6年生までの市内の児童が利用でき、5月末現在、利用実人数18名延べ人数は29名である。

総務企画部長 市民の知る権利を保障するため、開かれた市政実現を図ることを目的として、西予市情報公開条例を制定し運用している。

市長への提言は、ホームページ上に複数窓口が存在することから、3月のリニューアル時に、市へのお問い合わせ窓口を一本化した。

ワンストップサービスは、1階に来訪者の多い部署を集約し、窓口間の連携した対応で来庁者の利便性向上をはかっている。

総合案内の表示は、見直しを行い、視認性にすぐれた掲示を検討する。

問 行政の市民サービスで、情報公開出来る会はあるのか、またHPの市長の部屋から「市長への提言」がなくなった理由は。

来庁者へのワンストップサービスと総合案内所の現状は。



総合案内版(下)と市役所ロビー(上)



スマイル保育園(宇和町)



事業所内保育

4月に開設したばかりで利用率の低さが課題であるが、市民病院のすぐ隣に子どもを預け、安心して働ける環境が整えられていることを市内外にPRして、利用率を上げていく。

生活福祉部長 市立病院の訪問診療は、野村病院の医療・介護で延べ427件、市民病院82件。今後、かかりつけ医、包括支援センター等、医療・介護・保健・福祉分野などと顔の見える関係づくりを進め、多職種連携の強化を行う。

国保加入者の特定検診の受診率は、36.2%で、40歳以上を対象とするがん検診は、胃がん12.4%、肺がん26.3%、大腸がん24.7%。なお、後発医薬品の普及率は、今年1月で69.8%になっている。

また、県下でピロリ菌検査を導入しているのは、松山市と西条市で、今後、国や県の動向を注視していく。

問 西予市地域医療対策プランの在宅医療の現状と課題の認識は。また、医療費削減対策として、特定検診やがん検診の受診率と後発医薬品の使用状況は。

今後、ピロリ菌検査の導入は。

議員のつぶやき
来庁者からは、どんな景色にみえますか

議員のつぶやき
法律改正に期待

市長 市の議会基本条例で目指す議会と行政部局のあるべき姿については、一定程度の達成はできていると認識している。その上で、施策として重要なもの、あるいは大型予算を伴うものについては、可能な限り経過及び進捗状況の説明の場を適時設けていく。そして三元代表制の本旨に基づく議会と行政の健全なバランスを維持し、基本条例の目的である市民の付託にこたえ、豊かなまちづくりの実現に努めていく。

問 二元代表制のあり方と今後の取り組みは。

◎ 就学支援について



井関 陽一

酪農研修施設機能を有した牧場を

産業部長 調査・研究に積極的に参加する



ビッグミル(野村町)

産業部長 JA東宇和が構想中の酪農研修施設を兼ね備えた牧場を、酪農は市の主産業であり、酪農研修施設を兼ねた牧場は、酪農団地の維持や研修生の受け入れ、後継者の確保など振興対策にもなる。コントラクター研究会、酪農ヘルパー利用組合などさまざまな組織を巻き込むことで、一体的なサポートも可能であり、廃業や離農された遊休畜舎等を再利用するなど、JA東宇和が主体となる調査・研究に積極的に参画したい。

問 JA東宇和が構想中の酪農研修施設を兼ね備えた牧場をどう思うか。

総務企画部長 ひがしかわ株主制度は、納税に対して「株主証」を発行し、その提示により、市内施設の優待利用や市産品を優待価格で購入できたりする取り組みである。市内施設の利用やオーナー制度、体験交流型の返礼品を設けることが現在のところできていない。今後はひがしかわ株主制度などの取り組みを参考として、一過性のつながりにならないよう、西予市とかわっていただけるような仕組みづくりを検討する。

問 東川町で取り組まれている「株主制度」を返礼品に加えては。

産業部長 本事業が最終年度であることから、申請件数が多く、約6割が不採択となった。県内最大の畜産業を誇る本市としては、この事業は生産基盤の強化や安定的な経営が図れるなど畜産担い手の確保の重要な事業であり、補助金の増額及び事業継続を知事要望や機会あることに要望をしている。

問 県単独畜産クラスター事業（意欲ある愛媛の畜産担い手応援事業）の継続を。



河野 清一

2年間の市政運営の感想は

市長 予想しない出来事も発生したが、充実した日々であった



遊子川診療所(城川町)

市長 予子林地区での大火災、2月の大寒波による市内大規模断水など、予想もなかったさまざまな出来事が発生し、非常に早い月日の流れの中、充実した日々であった。今後2年間は暮らして安心が体感できるまちづくりのさらなる充実を目指し、稼ぐ力のアップや地域創生のための挑戦、改革に果敢にチャレンジしていきたい。

問 管家市政1期目、2年間の感想と、今後2年間の抱負、考えは。

生活福祉部長 車両及び搭載する医療機器は昨年11月に指名競争入札を、今年5月には熊本工場にて、担当職員の間検査を行った。現在は車両の機装及び医療機器の搭載を行っており、6月末には納車の予定である。診療場所は、移動診療車及び受診者の安全な駐車スペースの確保と、市立野村病院内の電子カルテとのネットワークが整備されている公民館としたい旨を、地区の方々の説明会及び意見交換会や地域医療セミナーにおいて説明し、決定した。

問 移動診療車の進捗状況と、診療場所を公民館に決定した経緯は。

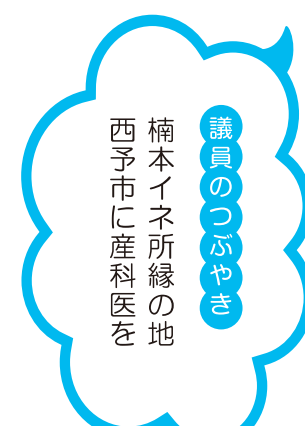
医療介護部長 現在、市民病院と野村病院が隔日交替で二次救急を受け入れているが、現状の医師、看護師等の人数では厳しい状況であることから、平成32年度に西予市民病院に集約化することを目指している。産婦人科の開設は、医師・看護師・助産師等のスタッフの確保が困難な

問 地域医療対策プランの中で、市立病院二次救急体制の一本化の方向性と産婦人科の開設の可能性は。



西予市立野村病院

状況にあることや、新たに設備や病棟を新設しなければならないことから、極めて困難な状況である。

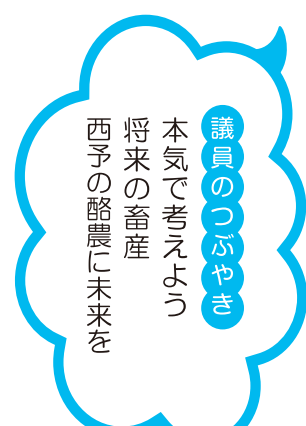


きそう
※機装…室内外の各種装備などを車体に取り付ける工程



ひがしかわ株主制度の株主証

その他の質問
◎農地の有効活用について
◎せいの東学校給食センターの取り組みについて



議員のつぎやき
本気で考えよう
将来の畜産
西予の酪農に未来を

新部長に聞く



総務企画部

総務企画部長
三好 敏也



主な業務は

総務・危機管理・税務・財政・まちづくり推進・政策推進・監理用地課の七課で、人事管理、災害対策、税の賦課・徴収、地域づくり交付金事業やジオパーク・男女

共同参画の推進、主要施策の企画立案、オフィス改革、情報システム管理や広報せいの発行、入札関係と幅広く多岐にわたり行政の管理部門を担当しています。

特に推進したいこと (市民へのアピールも含めて)

人口減少社会に対応する小規模多機能自治を推進するため、公民館を自治センターへ転換する具体的な準備を進めてまいります。魅力ある持続可能な西予市を築いていくためご理解ご協力をお願いいたします。

また、四国西予ジオパークの拠点施設となる「ジオミュージアム(仮称)」の建設を進め、さらなるジオを活かした産業・地域振興を図り、さらに、オフィス改革を継続し、行政サービスが低下しないよう業務の効率化、働き方改革に対する職員の意識改革を図り組織のスリム化・活性化に努めます。

産業部

産業部長
酒井 信也



主な業務は

経済振興課・農業委員会・農業水産課・林業課を所管し、経済の発展、一次産業の振興が主な担当です。

特に推進したいこと (市民へのアピールも含めて)

とにかく、西予市に活気を取り戻したいと考えております。特に今、一次産業においては、若者が参入するチャンスは十分にあると思いますし、所得に関しても、やり方次第では大いに期待できる時代だと考えております。

行政としては、やる気のある方への支援の方策をたくさん提案したいと考えております。

経済振興においても、優良企業の誘致等に力を入れ、若者が定住できる西予市を目指したいと考えております。

市民の皆様からは、たくさんご提案をいただき、それらの提案を、職員と共に丁寧に調査研究させていただき、西予市にとってよい方向を探っていきたいと思っておりますので、ご協力、ご指導のほどよろしくお願い致します。

生活福祉部 福祉事務所

生活福祉部長・福祉事務所長
藤井 兼人



主な業務は

生活福祉部は市民課・環境衛生課・健康づくり推進課で、住民票の発行やごみの収集、健康増進などの業務を、福祉事務所は、福祉課・長寿介護課・子育て支援課で、民生児童委員、生活保護、障がい者支援、介護、子育て支援など、

市民の暮らしや生活に直結する業務を担当しています。

特に推進したいこと (市民へのアピールも含めて)

常に謙虚な気持ちを持ち、市民目線で市民に寄り添った仕事をおこなうよう職員一同心がけています。

この度、地域医療を確保するため、今年7月末に廃止される西予市国民健康保険惣川診療所並びに遊子川出張診療所に替り、四国では初めての移動診療車による診療を8月から開始いたします。

また、子育て支援として、これまでも様々な事業を展開して参りましたが、妊娠時から出産、子育てと、それぞれの段階で不安感や孤独感が増大する保護者の方々に、身近な情報等を提供することで、安心して子育てができるよう「母子手帳アプリ」や「きずなメール配信」のサービスを実施します。

建設部

建設部長
岩瀬 布二夫



主な業務は

建設課・上下水道課など市民生活を支えるライフラインの維持・整備を担当しております。

特に推進したいこと (市民へのアピールも含めて)

今年2月に発生した記録的な寒波により、各地で宅内水道管の破損が発生し、市内でも広域断水に見舞われ、日本水道協会へ給水車応援を要請する状況に至ったところであります。

宅内配管につきましては、所有者が対策を取っていただくことはもちろんですが、今後、高齢化・空家化が進む中、隣近所の方々による協力体制についてもご検討をお願いいたします。

また、道路整備については、「西予市今後のまちづくりに関するアンケート調査」において、道路新設より既存道路の維持修繕を重視する意向結果となっております。

老朽化が著しい道路施設の長寿命化対策の展開により、近未来において、想定されている南海トラフ地震に対し、ライフラインが持続される、災害に強いまちづくりを目指したいと願っております。



市民から

市民との意見交換会の開催時期に農繁期は避けて欲しい。

議会から

開催地区により地域の実情にあった時期に開催する。

市民から

視察にしているが、西予市にどう反映しているか。

議会から

当市の課題や問題、先進地のモデルケース等を学び、市政への施策・提言を行っている。

市民から

陳情・請願の違いと、不採択の理由を教えてください。

議会から

今後、議会だよりの記事内で詳細について説明特集を組む。



行政への要望

田之筋地区では健康寿命を延ばすため、フレイル(※)予防運動をしているが、市内全域へ広げてはどうか。

地域要望に対して、行政側の丁寧な説明と不採択理由などを詳しく説明してほしい。

学校跡地利用について、全体貸しではなく、部分貸しができそうな、実情を踏まえた活用についての方針の見直しを検討してほしい。

須崎海岸は上り下りがきつく、なだらかな遊歩道は、民地があるのと、歩道が途切れているので、利用が難しい。人にも自然にもやさしい道へと改善整備を行ってほしい。

田之浜地区の公民館は2階にあり、高齢者は不便である。1階で利用できる代替地の検討をしてほしい。

現在の就農支援制度は、45歳の年齢制限、認定農業者などの要件があり補助を受けるためにはハードルが高い。補助内容の検討してほしい。

(※)フレイル……加齢に伴い健康障害をおこしやすくなった状態

市民と議会との意見交換会を開催

西予市議会では、市民の皆様の意見を的確に把握し、議会活動に反映させるため、市民との意見交換会を開催しています。

今回は、田之筋・田之浜・遊子川の3会場において意見交換会を実施しました。

はじめに、議会の仕組み、議会傍聴、請願・陳情、政務活動費などについて説明を行いました。その後、意見交換を行いご意見やご質問を受けました。

多くの皆様にご参加いただき、心より感謝いたします。



こちらの3会場で意見交換会を行いました！貴重な時間をありがとうございました！

この意見交換会について参加者アンケートの中で、「もっと若い人にも参加してもらいたい」「地域課題について具体的に意見交換を深めたい」などの貴重なご意見をいただきました。

今後も継続して開催しますので、お気軽にご参加いただき、様々なご意見をお聞かせください。



田之筋会場(宇和) 5月9日



田之浜会場(明浜) 5月10日



遊子川会場(城川) 5月11日

次回開催予定地

◎ 宇和 中川地区 ◎ 野村 中筋地区 ◎ 三瓶 東地区

日程等の詳細は次号でお知らせします。

祝 再認定 / 四国西予ジオパークの魅力再発見！ 第58号 せいよ議会だより 表紙の写真イラスト等大募集

採用者には
ジオの恵みを
進呈します

市民の皆さまに親しまれる市議会だよりにするため、また四国西予ジオパークの魅力を再認識するため、「せいよ議会だより」の表紙写真・イラスト等を募集します。

募集する写真・イラスト等のテーマ

- ・四国西予ジオパークの魅力

募集上の条件

- ・お一人様3点までで、未発表・オリジナル作品に限ります。
- ・被写体として人物や個人の所有物等が含まれる場合は、必ず被写体ご本人(未成年者の場合は保護者)又は所有者の承諾を得てください。
- ・データの場合は500万画素以上、印画紙の場合はA4サイズ以上で提出ください。
- ・採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ・応募作品は原則返却いたしません。

選考方法

- ・議会だより編集委員会で決定し、掲載します。
- ・応募がない場合や、採用作品がない場合は、本委員会で撮影した写真を使用します。

応募方法

- ・住所・氏名・連絡先・写真のタイトル・撮影場所・撮影日時をご記入のうえ、議会事務局へメール、もしくは郵送、持参してください。
- ※メールの場合は約7MBまでしか受信できませんのでご了承ください。

応募の締め切り

9月号×切 平成30年8月24日(金)

お問合せ 西予市議会事務局(議会だより編集委員会) 電話:0894-62-6413 メール:gikaijimu@city.seiyo.ehime.jp